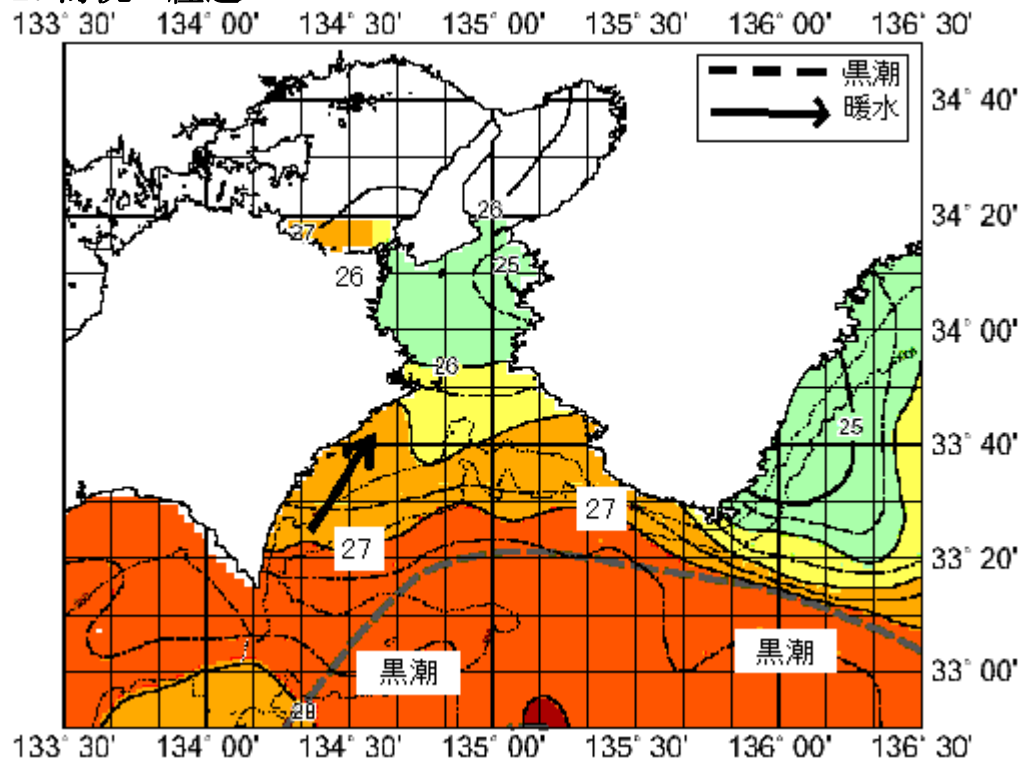


1. 海況の経過



海況

上に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県および和歌山県が共同で作成した海況図(H20.08.25)を示した。

黒潮は室戸岬沖でやや離岸、潮岬沖で接岸している。黒潮本流の表面水温は28～29℃台である。

表面水温は播磨灘が26℃台、紀伊水道内部が25～26℃台、外域が26℃台である。

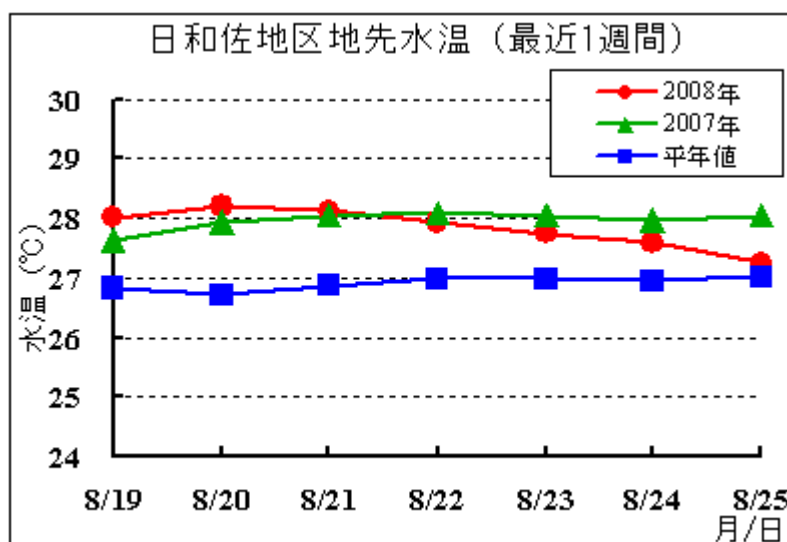
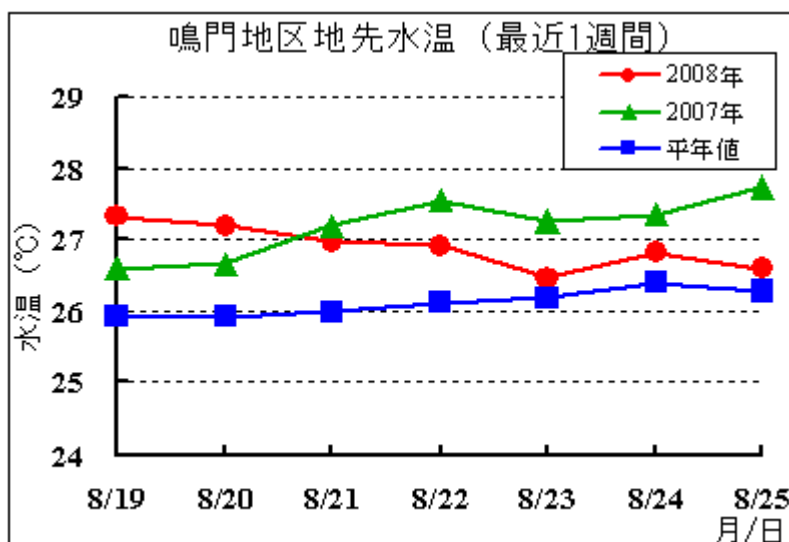
紀伊水道外域においては、徳島県側から、弱いものの黒潮の波及がある。

漁業調査船「とくしま」が8月8,19,20日に行った海部沿岸海区の海洋観測では、水温は表層～10m層が「やや高め」の26.9～28.4℃、20m層が「やや低め」の23.6℃、30～100m層が「かなり低め」の13.5～21.5℃であった。

水温	水深						塩分	水深					
	表層	10m	20m	30m	50m	100m		表層	10m	20m	30m	50m	100m
今年値	28.4	26.9	23.6	21.5	18.1	13.5	今年値	33.4	33.6	34.0	34.2	34.5	34.5
平年偏差	1.3	0.7	-1.7	-2.7	-3.4	-3.8	平年偏差	0.5	0.2	0.3	0.3	0.2	-0.1
前年偏差	-0.1	-0.5	-2.6	-3.6	-4.2	-5.3	前年偏差	0.0	-0.1	0.2	0.4	0.2	-0.1

地先水温

最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「平年並み」～「やや高め」の26.5～27.3℃、日和佐地区は「平年並み」～「高め」の27.3～28.2℃、牟岐地区は「やや低め」～「高め」の26.1～28.9℃で推移した。



## 2. 漁況の経過

**延縄:**海部沿岸で、小主体にアカムツが0.2トン(1日1隻当たり22kg)水揚げされた。

**小型定置網:**海部沿岸で、アオリイカが0.3トン(同9kg)、小小主体にカマス類が1.3トン(同32kg)、カンパチが0.9トン(同43kg)、マアジが3.1トン(同115kg)、マサバが0.5トン(同19kg)、マルソウダが1.2トン(同21kg)水揚げされた。

**釣り:**海部沿岸で、イサキが0.5トン(同129kg)、大・小主体にゴマサバが0.3トン(同39kg)、特大主体にタチウオが0.5トン(同13kg)、マルソウダが0.3トン(同34kg)、紀伊水道で、特大主体にタチウオが1.5トン(同20kg)水揚げされた。

**パッチ網:**紀伊水道で、シラスが14.9トン(同150kg)水揚げされた。

漁業種類別漁獲量集計表(抜粋) 08月18日～08月24日 県下7漁協からの聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	アカムツ	11	239	22	小主体
小型定置網		アオリイカ	32	299	9	
		カマス類	41	1,319	32	小小主体
		カンパチ	20	855	43	
		マアジ	27	3,110	115	
		マサバ	24	461	19	
		マルソウダ	58	1,206	21	
		釣り	イサキ	4	515	129
ゴマサバ			8	313	39	大・小主体
タチウオ			39	524	13	特大主体
マルソウダ			9	307	34	
紀伊水道			タチウオ	75	1,534	20
パッチ網		紀伊水道	シラス	99	14,850	150

### 週間予報:

黒潮は、室戸岬でやや離岸、潮岬で接岸で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地先で「平年並み」の26～27℃台、日和佐地先で「平年並み」の27℃台で推移する見込み。

### 他県情報:

和歌山県の釣りで、メジロが0.7トン(1日1隻あたり10kg)、イサキが0.6トン(同8kg)、パッチ網でシラスが2.1トン(同61kg)水揚げされた。

### \*水温偏差の目安

平年並み:±0.49以下, やや高め(やや低め):±0.50～1.49, 高め(低め):±1.50～2.49, かなり高め(かなり低め):±2.50以上